

# 算 数 通 信

算数について発信します。疑問や気づきがあれば、声をかけてください。(新庄)

## テーマ「統合的に考えることについて」

「統合的・発展的に考える」ことは、算数の〈学び方〉になります。「統合的に考える」と「発展的に考える」ことは、それぞれ別の学び方です。

第3号で書いたように、「統合的に考える」とは、【まとめ】の前に、解決のための違う考え方(バラバラに見える考え方)に対して共通点を見つけることです。

【例1】 2年「計算のくふう」(P81~P85)

【もんだい】

まささんは、15円のあめと40円のけしゴムを買いました。えんぴつを買いわすれたので、店にもどり、30円のえんぴつを買いました。せんぶでいくらつかいましたか。

$$\text{あみ } (15+40) + 30 = 85 \quad \text{りく } 15 + (40+30) = 85$$

【教科書のめあて】 しきからどのように考えたのかを読みとろう。

— 2つの式の意味について読み取りを行った後、まとめに入る。 —

T この2人の考え方の共通点は何ですか？

C ( ) (かっこ)を使っているところです。

T ( )を使って、この問題を式に表しました。どんなことがわかりましたか？

C ( )を使うと式の意味がちがってきます。それぞれの式に意味があります。

T 一人ひとりまとめを書きましょう。

【教科書まとめ】は、「( )を使うと、考え方をはっきりとしきにあらわせるね。」となっています。

【例2】 4年「わり算の筆算(1)」

【ふくしゅう】 $72 \div 3$ の筆算

・「わり算の筆算は、大きい位から計算する」

・「10を1として考える」

【もんだい】

76まいの色紙を、3人で同じ数ずつ分けます。

1人分は何まいにあって、何まいありますか。

$$\text{式 } 76 \div 3$$

【教科書のめあて】 筆算のしかたを考えよう。

【児童の活動】 筆算の仕方を考え、答えを求める。 答え 25あまり1

T 昨日のわり算の筆算と今日のあまりのあるわり算の筆算の共通点は何ですか？

C あまりがあっても、筆算のしかたは同じです。

【教科書のまとめ】は、「あまりがあるけど、筆算のしかたは同じだね。」となっています。

◎統合的に考えることは、算数の学び方の1つなので、できるように指導したいです。

次号は、「発展的に考える」ことについてです。